

平成27年度関東倶楽部対抗東京会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 13倶楽部 ・ 104名)

期日：5月18日(月)

場所：武蔵野ゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	山村 宏二	赤羽	内藤 正幸	桜ヶ丘	田村 昌三	府中	松下 和好	相武
2	7:39	田中 秀高	GMG八王子	荻島 富雄	武蔵野	安藤 謙治	八王子	村野 浩太郎	東京国際
3	7:48	塩田 義勝	小金井	嶋田 憲人	青梅	込谷 久雄	東京五日市	松本 順二	東京よみうり
4	7:57	原田 光則	多摩	船崎 重行	赤羽	小林 正剛	府中	林 敏雄	GMG八王子
5	8:06	橋本 圭司	八王子	深井 純	小金井	富澤 良二	東京五日市	指田 博	多摩
6	8:15	和田 忠明	桜ヶ丘	平 智	相武	馬場 康次	武蔵野	矢部 嘉一	東京国際
7	8:24	呉屋 朝幸	青梅	石川 弘人	東京よみうり	遠藤 勇	赤羽	工藤 薫	相武
8	8:33	五味 俊彦	八王子	新井 陽一	青梅	大久保 修男	多摩	村 武史	桜ヶ丘
9	8:42	永井 英輔	東京国際	永井 忠一	GMG八王子	白仁田 和美	東京五日市	篠塚 力	府中
10	8:51	青木 茂	武蔵野	阿部 幸三	小金井	堀 正樹	東京よみうり	野中 征夫	赤羽
11	9:00	棚橋 昭彦	GMG八王子	渡邊 太郎	小金井	師玉 勉	多摩	今吉 隆之	桜ヶ丘
12	9:09	渡辺 能邦	武蔵野	西 悦男	青梅	山宮 邦夫	府中	津村 信彦	八王子
13	9:18	岡野 公一	東京五日市	堺 政一朗	相武	鈴木 清視	東京国際	稲葉 良幸	東京よみうり

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
14	7:30	黒澤 雅行	赤羽	細野 敏彦	武蔵野	和田 博	東京五日市	鷲野 憲治	桜ヶ丘
15	7:39	島村 敏	八王子	志村 堅二	東京よみうり	牧野 純也	府中	黒田 隆雅	東京国際
16	7:48	元木 努	多摩	勝沢 広行	相武	丹羽 基広	小金井	田代 格	GMG八王子
17	7:57	清水 正一	青梅	露木 政夫	赤羽	佐々木 章	八王子	比留間 武治	多摩
18	8:06	有泉 靖	東京国際	隅田 城	桜ヶ丘	水上 富登	府中	寺田 正秀	小金井
19	8:15	小山 洋二郎	相武	竹花 英文	青梅	東 修一	GMG八王子	和田 雅英	東京五日市
20	8:24	内田 圭信	武蔵野	小笠原 信	東京よみうり	森居 達郎	赤羽	竹内 規晃	東京国際
21	8:33	寺澤 敬雄	桜ヶ丘	米満 康二	小金井	梅田 佳孝	府中	村松 吉則	青梅
22	8:42	坂本 竜人	相武	飯島 慎平	東京五日市	塚本 正人	GMG八王子	土屋 雅史	東京よみうり
23	8:51	高橋 克己	武蔵野	久富 隆生	多摩	清水 雅英	八王子	山崎 英司	赤羽
24	9:00	谷 靖馬	小金井	小倉 隆良	桜ヶ丘	榎田 剛	青梅	上野 憲二	府中
25	9:09	佐藤 雅彦	東京五日市	今野 修明	相武	森谷 慎二	多摩	斉野 恵康	GMG八王子
26	9:18	箕輪 進	東京よみうり	澤越 博幸	武蔵野	井上 和仁	八王子	白井 洋之	東京国際

競技委員長 竹村孝

平成 27 年度 関東倶楽部対抗東京会場予選競技

開催日 : 5 月 18 日(月)

開催コース : 武蔵野ゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーン芝草を短く刈った区域にあるヤードダメージキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
- コースと不可分の部分
ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
- ホールとホールの間の白杭
コース内の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- 防球ネット
コース内の防球ネットに球が近接しているためにスタンスや、意図するスイングの区域の妨げになる場合、規則 24-2b(i)により処置するときは、その障害物の中や下を通さずに救済のニヤレストポイントを決めなければならない。

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
Yards	375	180	365	355	140	580	360	500	340	3195
Par	4	3	4	4	3	5	4	5	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
520	390	110	485	380	160	460	310	405	3220	6415
5	4	3	5	4	3	4	4	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(C)1a』を適用する(ゴルフ規則 174 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(C)1b』を適用する(ゴルフ規則 175 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(C)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(C)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 25-3 に基づいて救済を受けなければならない。
3. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(240 球)を限度とする。
※使用クラブは、アイアンのみとする。

競技委員長 竹村孝